

令和7年度 小学校外国語科 授業改善推進プラン

大田区立嶺町小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・デジタル教科書を全員に配布し、各自で音声を聞いたり、発話したりすることで、語彙や表現が身に付いた。
- ・各自の学習の進度に合わせて、ドリルパークに取り組ませた。それぞれの習得すべきところを理解でき、学習の確認ができた。
- ・話すこと（やり取り）や（発表）は十分な時間を掛けて指導を行ったので、臆せずに話すことができるようになった。
- ・聞くことについては、日常生活の対話を目的・場面・状況に推測して聞き取ることができた。

(2) 課題

- ・聞くこと・話すことは毎回の授業で取り入れていたので定着したが、読むこと・書くことの活動が少ないため、正しくアルファベットの大文字・小文字を書くことができない児童がいた。
- ・ゲームアクティビティを積極的に取り入れたことで楽しみながら語彙や表現を定着できたが、言語活動を通して互いの考えや気持ちを伝え合うことをさらに大切にする必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率

	令和6年度結果
第6学年	目標値に関しては上回っている項目、また目標値と同程度のものが多かった。

(2) 分析

知識・技能を中心に（紙面のみのテストからの分析のため）
身近で簡単な事柄についての話を聞き、その内容を理解していた。しかし、活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を身に付けることに課題があった。さらにアルファベットを読んだり書いたりすることが目標値と全国正答率からもっとも下回っていた。

3 授業改善のポイント（観点別）

6年生のみ

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・基本的な語彙や表現に親しみ、その語彙や表現を用いて、繰り返し言語活動を行うことで定着につなげていく。 ① 授業の流れを提示 ② ピクチャーカードの提示 ③ 動画・ALT の効果的な活用 ・さらに書くことに親しむことができるよう、授業の最初の時間を活用し以下のことを行う。 ① 既習の会話に基づく内容を書く活動 ② アルファベットに親しむ活動	・スモールトークを行い、自分の本当の考えや思いを伝えるために、「聞く・話す・読む・書く」の活動にバランスよく取り組むことができるようにする。 ① 具体的な情報や必要な情報を聞き取ること ② 相手によりよく自分の考えや思いが伝わるように、話の順番を考えて話すこと。 ③ その場で伝え合うこと ④ 読んで情報を得ること ⑤ 例文を参考に書くこと	・授業において、相手のことをよく知ったり、自分のことをさらに知ったりするために、目的・場面・状況の設定を工夫して主体的に取り組むことができるようにする。 ・話すことや書くことを通して、自分の考えや思いを学校外の人へ伝える機会を設定する。